

1-1

主担当課／商工観光課
関係課／建設管理課，建設事業課，農政水産課，企業誘致推進室

企業誘致の推進と雇用創出

基本方針

“地元で働けるまち”を目指し，企業誘致等により雇用の場を拡大・確保するとともに，こうした市内の雇用の場と市民とのマッチングを推進します。

現況と課題

- ①日本経済の景気回復基調の中，企業の国内事業拡大意欲は高くなっており，県営笠岡港（港町地区）工業用地においても，用地の分譲が順調に進んでいます。また，企業が要望する岡山県南部の工業用地は不足しており，本市においても，民有地の有効活用や民間の活力を利用した新たな産業団地の確保が求められています。
- ②企業誘致の推進に当たっては，様々なデータや分析結果等を踏まえた上で，誘致を検討・推進することがより効果的です。企業誘致により，税収を増やし，市内のインフラの整備・更新を適切に行っていき，地元で働き，住み続ける環境を実現する必要があります。
- ③企業誘致の促進に向けて，市の公式ホームページ等の情報発信ツールを活用し，国道2号バイパスが暫定的に開通したことにより交通の利便性が高まっているといった市の特性等の情報発信を強化するとともに，様々な企業情報の収集を進める必要があります。
- ④ハローワーク笠岡管内の有効求人倍率は1.5倍程度と高い率を維持しており，労働力不足が顕在化する中で，求人と求職のミスマッチは解消されておらず，ナンバーワンやオンリーワンの技術・製品を有するにも関わらず，知名度が低い市内の中小企業等は就業者の確保が困難な状況となっています。

対策

- ①国道2号バイパス（「玉島・笠岡道路」及び「笠岡バイパス」）の早期完成や篠坂スマートインターチェンジの事業化を促進することで，県営笠岡港（港町地区）工業用地への企業誘致を図り，早期完売を目指します。また，耕作放棄状態にある農地の産業用地への有効活用を図り，民間の活力を利用した産業団地の造成と，大規模な未利用工場用地をはじめ，民有地への積極的な企業誘致や設備投資を促進します。さらに，笠岡湾干拓地内に農業法人の誘致による農地の更なる集約利用を図り，雇用促進を図ります。
- ②2013年笠岡市産業関連表及び地域経済構造分析に基づき，多くの雇用効果等が見込める企業に対しターゲットを絞った戦略的かつ効果的な企業誘致活動を行います。

③中国・四国・関西・九州の主要都市との距離感を含めた笠岡市の立地特性や、交通利便性等の企業誘致に関わる情報発信を強化します。また、企業誘致活動は専門的知識と情報収集能力が必要とされる中で、長期的に企業誘致活動に関われる人材の確保と体制整備を進めるとともに、岡山県等と連携した取組を進めます。

④若者のニーズにあった企業及び成長が期待できる企業誘致を図り、企業や労働関係行政機関で組織している笠岡雇用開発協会と連携し、新規卒者の地元での就職の推進や、中高年齢者の雇用の安定、女性、障がい者の雇用環境の整備を図ります。また、笠岡湾干拓地内で農福連携を活用した障がい者の雇用促進を図ります。

総合指標	単 位	実績値	実績見込	目標値		
		2016年	2017年	2018年	2021年	2025年
笠岡港工業用地での新規操業開始企業数	企業/年	1	2	2	1 (累計5)	1 (累計9)
その他の場所での新規操業開始企業数	企業/年	1	1	2	2 (累計8)	2 (累計16)
「企業誘致・雇用の創出」の満足度 (市民意識調査)	%	△ 49.7	-	△ 39.7	△ 34.7 (2020年)	△ 24.7 (2024年)

達成目標 1 企業誘致の推進 (※①②③④)

指 標	単 位	実績値	実績見込	目標値	
		2016年	2017年	2018年	2021年
笠岡港工業用地での新規操業開始企業数	企業/年	1	2	2	1 (累計5)
その他の場所での新規操業開始企業数	企業/年	1	1	2	2 (累計8)
事業用地造成促進奨励金支給件数	件/年	0	1	1	1 (累計4)

目標達成のための取組概要

- ◆ 企業情報を収集するとともに、トップセールスも含めて企業訪問を行い、積極的に企業誘致に取り組めます。
- ◆ 生産波及効果、雇用効果の高い産業群、若者のニーズに合った企業及び成長が期待できる企業の誘致を推進します。
- ◆ 県営笠岡港（港町地区）工業用地は、岡山県と連携を図り、県と市の奨励金制度を活用し、早期完売を図ります。また、民有地への企業誘致も併せて推進します。
- ◆ 優遇制度や優れた立地条件等を積極的にPRします。
- ◆ 事業用地造成促進奨励金による民間活力を活用した工業用地の造成を図ります。
- ◆ 笠岡港の機能拡充に向けて、岡山県に対して浚渫工事等の要望を行います。
- ◆ 笠岡湾干拓地及び市西部企業の輸送環境の向上のため、国道2号バイパス（「玉島・笠岡道路」及び「笠岡バイパス」）の整備について、近隣自治体で構成された整備促進協議会で整備要望に取り組むとともに、(仮称)笠岡西インターチェンジ以西の「福山道路」についても福山市と連携を図りながら国土交通省に早期事業化を要望します。

主要事業

- ◆ 県営笠岡港（港町地区）工業用地や民有地への優良企業誘致
- ◆ 企業立地促進奨励金・物流施設誘致促進奨励金・新設工場等設置奨励金
- ◆ 事業用地造成促進奨励金
- ◆ 民間活力を活用した工業用地造成
- ◆ 国道2号バイパス及び篠坂スマートインターチェンジ整備促進

達成目標 2 地元での就業機会の拡大（※④）

指 標	単 位	実績値	実績見込	目標値	
		2016年	2017年	2018年	2021年
笠岡公共職業安定所管内の年間有効求人倍率	倍	1.59	1.4以上	1.4以上	1.4以上
高校生長期インターンシップ延べ参加者数	人	27	32	39	60

目標達成のための取組概要

- ◆ 笠岡雇用開発協会を中心に、管内企業・高等学校等と連携を図り、若者の地元就職を推進するため就職面接会を開催します。
- ◆ 国の制度等を活用して、高齢者・女性・障がい者等の雇用の安定や雇用環境の整備を図ります。
- ◆ 高梁川流域や備後圏域と連携した地元企業参加による県外での企業説明会により、県外大学生のU・Iターン就職を促進します。
- ◆ 高校生・大学生等の就業体験等を行い、就職後の雇用のミスマッチによる早期の離職を防ぎます。また、地域産業を担う人材育成を行います。
- ◆ 地元の中小企業の魅力を発信し、認知度を高めることにより、地元中小企業への就職を促します。

主要事業

- ◆ 新規学卒者雇用奨励金，障害者雇用奨励金
- ◆ 就職説明会，就職面接会
- ◆ 高校生長期インターンシップ事業
- ◆ かさおか中小企業「魅力」発信事業
- ◆ モノづくり出前教室支援補助金
- ◆ 市長企業訪問

主な関連計画

計 画 名	策定（改訂）年月	計画期間
笠岡市産業振興ビジョン	2014年3月	5年
笠岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略	2015年8月	5年

1-2

主担当課／農政水産課

関係課／定住促進センター，地域福祉課，建設管理課，建設事業課，商工観光課

農業振興

基本方針

笠岡市の特色や強みを活かした第1次産業の活性化に向けて、農業・畜産業の振興に関わる多様な支援を行うとともに、新たな担い手の確保、農業用地・施設の適正な維持管理、鳥獣被害対策等に取り組みます。

現況と課題

- ①笠岡湾干拓地を中心に農業法人の参入，集落営農組織の発足等の規模を活かした農業経営が定着してきているものの，農作物価格の低迷が続いており，農作物の付加価値の追求等により，経営をより安定させることが重要です。
- ②県内屈指の経営規模を誇る酪農・養鶏を中心とした畜産業の経営規模拡大が進んでいる中で，農業同様に付加価値を活かした経営の安定を図ることや，飼養数増加に伴う家畜排泄物処理や環境問題（臭気・水質等）への対応が求められています。
- ③農業者の高齢化や農業の担い手・後継者不足は笠岡市でも深刻な問題となっており，新たな担い手の確保・育成が求められています。
- ④農業従事者の減少に伴う耕作放棄地の増加が加速化しています。また，小規模な農地や不整形な農地を集約化し，農業機械を利用した営農を行うための整備が求められています。
- ⑤農業者の高齢化と施設の老朽化に伴い，施設利用時の省力化・安全性の向上が求められています。
- ⑥耕作放棄地の増加等に伴い農地の荒廃化・森林化が進んでおり，野生動物と人間の生活範囲が重複してきているため，有害鳥獣による農作物被害が多発しています。

対策

- ①農家の更なる所得向上を目指すために，付加価値につながる6次産業化やふるさと納税返礼品への採用により農作物のブランド化，ふるさと納税の推進等の取組を進めます。
- ②畜産物の高付加価値化の取組を進めるとともに，事業の規模拡大に伴う臭気対策・水質改善対策及び畜産業者への指導を行います。

③地域農業の中心となる担い手・後継者の確保のために、就農希望者に対する支援及び受け入れ体制の確立を図ります。また、集落営農、農業法人、地域商社等の担い手を確保するための新たなシステムを検討します。

④隣地へ悪影響を与える耕作放棄地等について、実態把握と具体的な解消策について検討を進めます。また、農地集約による圃場整備を推進するとともに、農業・農村の多面的機能を維持していくため、地域の共同活動を支援します。

⑤ため池、井堰、用排水路、農道の維持管理及び整備を行います。

⑥猟友会や地域の団体と連携し、効率的・効果的な鳥獣被害対策として早急な被害の把握と駆除対策を講じます。

総合指標	単位	実績値	実績見込	目標値		
		2016年	2017年	2018年	2021年	2025年
市内農業産出額（農水省市町村農業産出額推計）	千万円/年	599 (2015年)	613 (2016年)	619 (2017年)	669 (2020年)	709 (2024年)
「農林業の振興」の満足度（市民意識調査）	%	△ 20.0	-	△ 18.0	△ 16.0 (2020年)	△ 14.0 (2024年)

達成目標 1 地域の特徴を活かした農業・畜産業の活性化（※①②）

指標	単位	実績値	実績見込	目標値	
		2016年	2017年	2018年	2021年
市内農作物の産出額（野菜・果実） （農水省市町村農業産出額推計）	千万円/年	119 (2015年)	146 (2016年)	129 (2017年)	444 (2020年)
市内農作物の産出額（花き） （農水省市町村農業産出額推計）	千万円/年	19 (2015年)	17 (2016年)	19 (2017年)	19 (2020年)
市内農作物の産出額（米） （農水省市町村農業産出額推計）	千万円/年	40 (2015年)	49 (2016年)	42 (2017年)	45 (2020年)
牛の飼養頭数（笠岡市内全体/乳用牛・肉用牛）	頭	6,759	6,861	8,100	9,500
採卵鶏の飼養羽数	羽	663,852	665,126	664,000	670,000
かさおかブランド「農林業部門」認定件数	件/年	0	3	1	1（累計5）

目標達成のための取組概要

- ◆生産者と一体となったブランド品の開発や、情報発信による付加価値の追求を行います。
- ◆県等と連携して、6次産業化の意向がある生産者への補助制度を中心とした支援を進めます。
- ◆所得向上に寄与する農業用施設、農業用機械の導入に対して補助制度を中心とした支援を進めます。
- ◆学校給食への活用や小売店・地元飲食店等と協力し、地元農作物の地産地消を推進していきます。

主要事業

- ◆各種補助制度
- ◆畜産クラスター事業
- ◆地産地消推進事業
- ◆かさおかブランド育成事業

達成目標 2 農業者の担い手・後継者の確保と育成（※③）

指 標	単 位	実績値	実績見込	目標値	
		2016年	2017年	2018年	2021年
新規認定農業者数	人	96	97	98	100

目標達成のための取組概要

- ◆ J A, 県, 農業普及指導センターと連携し, 新規就農者の受け入れ体制の確立, 就農補助制度等の支援を行います。
- ◆ 農業の担い手が自立した経営及び安定した所得・雇用の確保が行えるよう, 集落営農, 地域内の流通制度, 地域商社等による地域外への販路の確保等のシステムを検討していきます。
- ◆ 地域の中心となる経営者を育成するため, 認定農業者制度に基づく経営計画の支援及び集落で今後の農業のあり方を検討する「人・農地プラン」を通じた話し合いを行っていきます。
- ◆ 農福連携, 地域商社等により, 関係機関と連携した農業の雇用の確保に努めます。

主要事業

- ◆ 農業次世代人材投資事業
- ◆ 認定農業者制度
- ◆ 人・農地プラン制度
- ◆ 就業奨励金事業

達成目標 3 農業用地・施設の維持管理（※④⑤）

指 標	単 位	実績値	実績見込	目標値	
		2016年	2017年	2018年	2021年
市内耕作放棄地面積	ha	1,780	1,788	1,778	1,748
中山間地域等直接支払制度協定締結面積	ha	19.1	19.4	19.6	20.0
多面的機能支払交付金事業を活用する認定農用地面積	ha	678.4	708.9	756.7	756.7

目標達成のための取組概要

- ◆ 農業委員及び農地利用最適化推進委員と連携して耕作放棄地の現状把握を行い, 担い手へのあっせん等の仲介を進めていきます。
- ◆ 多面的機能支払交付金事業を活用して農地維持に取り組み, 地域で担い手を支える体制を強化します。
- ◆ 耕作放棄地発生防止のための活動に対する補助制度等を通じて, 農業者や保全団体に対して活動の支援を行います。
- ◆ ため池の耐震補強や井堰の電動化, 用排水路や農道の維持管理及び整備に取り組みます。
- ◆ 効率的な農業を推進するため, 農地の集積を支援していきます。
- ◆ 干拓地内にある寺間排水機場のポンプ, 制御施設, 建屋の大規模改修を行います。

主要事業

- ◆農業委員会制度
- ◆耕作放棄地解消対策事業
- ◆中山間地域等直接支払制度
- ◆農地中間管理事業
- ◆多面的機能支払交付金事業
- ◆農業用施設維持管理事業
- ◆寺間排水機場大規模更新事業

達成目標 4 鳥獣被害の減少と森林整備の推進（※⑥）

指 標	単 位	実績値	実績見込	目標値	
		2016年	2017年	2018年	2021年
防護柵補助件数	件/年	30	48	30	30
駆除班員数	人	26	26	26	26

目標達成のための取組概要

- ◆猟友会駆除班を実施隊に移行し、駆除活動に伴う報酬や身分保障の強化を行います。
- ◆猟友会の技術継承、人員の維持、確保を行うため実地研修会や情報交換会の開催を支援し、活性化を図ります。
- ◆県等専門機関の協力を仰ぎながら、山林と人里との境界をはっきりとさせるため適切な森林整備を推進します。
- ◆有害鳥獣対策と森林整備への住民協力を得るため、広報かさおかやホームページ、出前講座の活用等、積極的PRを行います。

主要事業

- ◆捕獲奨励費
- ◆有害鳥獣対策チーム
- ◆防護柵設置補助
- ◆松くい虫防除事業
- ◆県補助事業

主な関連計画

計 画 名	策定（改訂）年月	計画期間
笠岡市田園環境整備マスタープラン	2003年2月	—
笠岡市内の公共建築物における県産材等の利用促進に関する方針	2012年3月	—
笠岡市農業経営基盤強化促進に関する基本的な構想	2014年	10年
笠岡市農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画	2015年8月	—
笠岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略	2015年8月	5年
笠岡市酪農・肉用牛生産近代化計画	2016年3月	10年
笠岡市担い手確保計画	2017年3月	5年
笠岡市森林整備計画	2017年4月	10年
笠岡市鳥獣被害防止計画	2018年2月	3年
笠岡農業振興地域整備計画	2018年7月 (策定予定)	10年

1-3

主担当課／商工観光課

商工業振興

基本方針

行政、市民、事業者及び笠岡商工会議所等の協働による商工業の振興を進めるとともに、既存の事業者・新規創業者の自助努力及び創意工夫を支援します。

現況と課題

- ①市内の事業所数が減少している中で、サービス需要の福山市等への域外流出や、市内の中小企業等の設備の老朽化による生産性の低下への対応が求められています。
- ②2013年笠岡市産業関連表によると、域外からのマネーを獲得する笠岡市の基盤産業（鉄鋼、電子部品、化学製品、食料品等）において、域外から原材料等を多く依存している状況があります。
- ③市内にはオンリーワンやナンバーワンの技術を有する事業所が複数存在する一方で、こうした事業所の情報は域外に十分に知られているとはいえない状況であり、情報発信力を高めることが求められます。
- ④笠岡駅周辺の商店街は、売り上げの減少や経営者の高齢化による後継者不在により閉店する店舗が増え、空き店舗が増えています。中心市街地の賑わいを創出するためにも、空き店舗を有効に活用する必要があります。
- ⑤2016年に笠岡商工会議所が実施した事業承継のアンケートによると、「承継を予定」していると回答した事業所は半数程度となっています。笠岡市の商工業の維持に向けて、事業承継のための支援が求められます。

対策

- ①中小企業者の設備投資を促進し、生産性の向上を支援するとともに、新たな事業展開や経営資金のため、金融機関から資金が調達できるよう融資制度の充実を図ります。
- ②笠岡市内にある地域資源を活用し、地域内でのつながり（取引関係）を強化することによって域内循環を高める取組を促進します。
- ③地域内の事業所に対し、ブランド力の向上、情報発信力の強化、販路拡大等の取組を通じて売り上げが増えるよう支援します。そうした施策を通じて、市民所得の増加に寄与していきます。

- ④「JR 笠岡駅周辺整備基本構想」に基づく整備事業を実施し、中心市街地に賑わいを取り戻します。また、起業希望者や起業者が気軽に集える「かさおか創業サロン」の運営を支援し、ワンストップで創業の支援が行えるよう支援体制を整備します。さらに、商店街の空き店舗の利活用を支援します。
- ⑤笠岡商工会議所及び岡山県事業引継ぎ支援センターと連携し、情報収集に努める等、スムーズな事業承継が行えるよう支援するとともに、若手経営者の育成を推進します。

総合指標	単 位	実績値	実績見込	目標値		
		2016年	2017年	2018年	2021年	2025年
総人口1人当たりの市民所得	千円	2,404 (2014年)	2,434	2,444	2,474	2,514
事業所数（経済センサス統計調査）	事業所	-	-	2,145	2,153 (2020年)	2,145 (2024年)
従業員数（経済センサス統計調査）	人	-	-	21,646	21,696 (2020年)	21,796 (2024年)
従業員4人以上の製造業の事業所数（工業統計調査）	事業所	-	123	124	127	131
従業員4人以上の製造業の従業者数（工業統計調査）	人	-	5,254	5,258	5,270	5,286

達成目標 1 生産・販売力の強化（※①②③）

指 標	単 位	実績値	実績見込	目標値	
		2016年	2017年	2018年	2021年
製造品出荷額等（工業統計調査）	百万円	-	197,177	199,149	205,183
粗付加価値額（工業統計調査）	百万円	58,477 (2014年)	59,153	59,745	61,554
年間商品販売額（商業統計調査）	百万円	-	-	78,978	-
かさおかブランド「産業・技術部門」認定件数	件/年	2	1	2	2（累計8）

目標達成のための取組概要

- ◆多様な主体と連携を図るとともに、企業コーディネーターの訪問により、域内循環の強化、新たな事業展開、補助金の紹介等の経営支援を行います。
- ◆かさおかブランド「産業・技術部門」の認定により、ブランド力の向上を図り、販路の拡大を支援します。
- ◆中小企業者の新商品、新技術、試作品の製作を促し、事業者のイノベーションを図ります。
- ◆製造業の老朽化した設備の更新を促進し、生産性の向上を図ります。
- ◆中小企業者の新事業の展開や経営の安定のため、融資制度の充実を図ります。
- ◆市内事業者の異業種・同業種間の連携やマッチングの推進を図ります。
- ◆地域の産品を取扱い、マーケティングや営業、販売、流通等を担う地域商社（卸売部門）機能の確立を目指します。

主要事業

- ◆企業コーディネーターの配置
- ◆経営セミナー
- ◆中小企業設備投資促進補助金
- ◆岡山県よろず支援拠点笠岡出張相談
- ◆地域産業魅力づくり応援補助金
- ◆岡山県信用保証協会保証料補給金
- ◆小規模事業者経営改善資金利子補助金

達成目標 2 創業・事業承継の支援（※④⑤）

指 標	単 位	実績値	実績見込	目標値	
		2016年	2017年	2018年	2021年
起業支援事業補助金の新規交付件数	件/年	11	8	8	8 (累計 32)
中心市街地空き店舗利用促進補助金交付件数	件/年	-	1	1	1 (累計 4)
事業承継支援補助金交付件数	件/年	-	0	2	2 (累計 8)
笠岡商工会議所青年部の会員数	人	68	65	71	74

目標達成のための取組概要

- ◆「かさおか創業サロン」の運営を補助し、事業計画の相談から、事業の立ち上げ、事業の進捗状況に応じた相談体制を整備し、創業希望者や創業者を支援します。
- ◆中心市街地の賑わいを創出するため、イベントの充実や商店街の空き店舗の活用を支援します。
- ◆起業支援事業補助金を活用して起業した方への定期的なフォローアップを行います。
- ◆笠岡商工会議所と連携し、中小企業の事業承継を支援するとともに、若手経営者の育成を支援します。
- ◆産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画による証明書の交付を行います。
- ◆岡山県事業引継ぎ支援センターと連携し、後継者のいない中小企業者のM&A※やMBO※を進めます。

主要事業

- ◆起業支援事業補助金
- ◆かさおか創業塾の補助
- ◆かさおか創業サロン運営の補助
- ◆中心市街地空き店舗利用促進補助金
- ◆事業承継促進支援補助金
- ◆中小企業人材育成支援補助金

※M&Aとは、Mergers(合併)and Acquisitions(買収)の略で、企業の合併買収のことで、2つ以上の会社が1つになったり(合併)、ある会社が他の会社を買ったりすること(買収)

※MBOとは、Management Buy Outの略で、子会社(事業部門)の経営陣が事業の継続を前提として、親会社・オーナーから株式・経営権を買い取り、自ら企業のオーナーとなる独立手法のこと

主な関連計画

計 画 名	策定(改訂)年月	計画期間
笠岡市産業振興ビジョン	2014年3月	5年
笠岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略	2015年8月	5年

1-4

主担当課／農政水産課

水産業振興

基本方針

海に臨む笠岡市の特色ある産業として水産業を振興するため、水産資源の増加、担い手の育成とともに、安くて新鮮な笠岡の水産物を広く提供するための取組を進めます。

現況と課題

- ①笠岡市の豊かな海を再生・維持するため、市民を中心としてアマモ場再生活動が行われていますが、その一方で環境の変化や乱獲によって漁獲高は減少しています。今後は漁場の整備等により、水産資源を増やし、安心・安全な水産物を需要に応じて安定的に供給することが必要です。地元へ供給をして自給率を向上させる必要があります。
- ②漁業者の高齢化が進む中、担い手・後継者不足等によって漁業者が減少しており、漁業そのものの存続が危ぶまれています。
- ③若者を中心に「魚離れ」が進み、水産物の消費が減少している中で、笠岡の地魚の良さを広くPRするとともに、新たな販売ルートの開拓等により消費の拡大を図る必要があります。

対策

- ①魚の住環境を再生するための漁場整備とともに、稚魚の放流の支援・養殖等により水産資源の増加を図ります。
- ②漁業の担い手の育成に努めるとともに、漁業者自らが資源管理を行い、持続ある海づくりを推進することを支援していきます。
- ③新規販売ルートの開拓や直販体制の確立を支援するとともに、身近な地域で旬の地魚を新鮮に供給できる体制を構築し、消費の拡大を図ります。

総合指標	単 位	実績値	実績見込	目標値		
		2016年	2017年	2018年	2021年	2025年
漁獲量（海面漁業）	t／年	700	700	700	700	700
漁獲量（養殖漁業）	t／年	650	650	650	650	650
「水産業の振興」の満足度（市民意識調査）	%	△ 11.6	－	△ 10.0	△ 8.5 (2020年)	△ 7.0 (2024年)

達成目標 1 水産資源の回復（※①②）

指 標	単 位	実績値	実績見込	目標値	
		2016年	2017年	2018年	2021年
漁獲量（海面漁業）	t/年	643	650	650	650
漁獲量（養殖漁業）	t/年	-	650	650	650

目標達成のための取組概要

- ◆ 定着率の高いメバルやオコゼ等稚魚を放流し、海洋牧場事業等の育成支援を行います。
- ◆ 美しく豊かな海づくり協定の情報発信を強化し、アマモ場の再生や海ごみ回収といった漁場再生事業への一般市民の関心を高め、事業の推進を図ります。
- ◆ 漁網の網目の大きさや再放流等、漁業者自ら行う資源管理の推進を支援します。

主要事業

- ◆ 種苗（稚魚）放流
- ◆ 栽培漁業（海洋牧場）
- ◆ 美しく豊かな海づくり協定事業

達成目標 2 漁業者の担い手・後継者の確保と育成（※②）

指 標	単 位	実績値	実績見込	目標値	
		2016年	2017年	2018年	2021年
新規就業者数	人/年	2	2	2	2
漁業体験者数	人/年	90	150	150	150

目標達成のための取組概要

- ◆ 就学児童の漁業体験を通して、海や漁業への理解と関心を広げます。
- ◆ 他業種との情報交換を通じて、漁業の活性化を推進します。
- ◆ 研修会を開催し、漁業者の知識の習得と技術の向上を図ります。
- ◆ 作業効率を向上させるため、漁業施設の整備を支援します。

主要事業

- ◆ 都市漁村交流事業
- ◆ 漁業者の研修会
- ◆ 各種水産業振興補助金

達成目標 3 新鮮な地魚の提供 (※③)

指 標	単 位	実績値	実績見込	目標値	
		2016年	2017年	2018年	2021年
直売所の販売額 (道の駅・大島朝市・神外朝市)	千円	59,000	59,000	60,000	61,000

目標達成のための取組概要

- ◆新規の販売ルートの開拓や直売体制, 各種イベント開催を支援します。
- ◆消費者やその団体, 漁業者との協力体制の構築, 調理方法等の紹介を通じて旬の地魚の良さをPRし, 消費拡大と漁業振興を図ります。

主要事業

- ◆魚まつりやカキ祭りへの支援
- ◆備後フィッシュの取組

主な関連計画

計 画 名	策定 (改訂) 年月	計画期間
笠岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略	2015年8月	5年



漁業体験

1-5

主担当課／商工観光課

関係課／企画政策課，定住促進センター，建設管理課，農政水産課，生涯学習課

観光振興

基本方針

観光振興は、本市の産業振興施策において重要な柱の1つです。「瀬戸内海・笠岡諸島」，「笠岡湾干拓地」といった本市の特徴・地域資源を活かして、本市の観光分野の魅力を発信し認知度を高めるとともに、国内観光客の誘致，修学旅行の誘致，インバウンド誘致等，観光客の増加を図ります。

現況と課題

- ①笠岡市には他の地域にはない優位性を備えた笠岡諸島があり、その玄関口である笠岡諸島交流センターとJR笠岡駅とのアクセス整備や駐車場等の利便施設の充実が求められています。笠岡諸島では、年間を通して「走り御輿ツアー」等の様々なツアーを実施していますが、一般的には夏の海水浴を目的とした観光客が集中して訪れている状況です。笠岡諸島を含め笠岡市でしか味わえないものを見出し、「旅行商品」に磨き上げる活動を推進することが必要です。
- ②2014年度から観光事業に特化した職員である「観光コーディネーター」を配置し、観光業エージェントへの営業活動，地元観光業従事者への受け入れ体制の調整，新たな観光商品の開発・販売活動等を推進していますが、今後は観光団体の更なる体制強化が求められています。
- ③笠岡市内の観光事業者は、経営者の高齢化の進行，後継者不足等により、減少の一途をたどっている状況です。
- ④観光ガイド役の不足，外国語による案内の表記等の不足等，受け入れ体制のソフト面の整備が遅れており，海上交通についても決して充実しているとはいえない状況です。また，島（特に白石島と真鍋島）を中心として欧米（特にヨーロッパ）等から一定の海外観光客が訪れているものの，宿泊施設や島内での食事場所等が不足しており，島への経済効果もあまり大きいとはいえない状況です。
- ⑤今後もインバウンドの更なる拡大が見込まれる中で，海外の市場も対象に，笠岡市のイメージの向上にもつながるような情報発信を行うことが必要です。
- ⑥笠岡市へは年間約129万人の観光客が訪れていますが，このうち80万人以上が道の駅「笠岡ベイファーム」を訪れており，更なる来場者の増加と，他の観光スポット等への周遊が求められます。

対 策

- ① J R 笠岡駅と笠岡港（住吉地区）との連携強化を図り、観光客の利便性向上を図ります。また、若者会議や地域おこし協力隊等、若者の意見を取り入れながら、島しょ部の豊かな自然環境や広大な干拓地の景観等、笠岡市独自の地域資源や優位性を活かした、観光客のニーズに合った観光メニュー・商品開発を支援する等、誘客のための取組を推進します。
- ② 笠岡市の特産品をブラッシュアップし、付加価値の高い商品の開発を進めるとともに、多様な主体との連携に取り組むことにより、更に効果的な観光振興を図ります。また、観光連盟等の機能強化・体制充実を促進します。
- ③ 笠岡市で観光業に従事し、稼ぐことにつなげるための仕組みを検討するとともに、こうした仕組みを踏まえた観光業への新規参入者や後継者の育成を支援します。
- ④ 交通・飲食・宿泊等の施設の整備に加え、外国人も含めた多様な観光客がスムーズに市内を観光するためのソフト面の整備を進めます。また、観光の取組の展開による経済効果を地域に循環させ、地域経済の活性化につなげるため、宿泊や長期滞在を促す取組を推進します。
- ⑤ 観光関連イベント等の多様な情報発信の機会とともに、SNS等の情報発信のツールを活用し、国内外への笠岡市の観光関連情報の発信を進めます。
- ⑥ 将来、国道2号バイパスが全面開通し、交通の利便性がより一層高まることが予想されるため、道の駅「笠岡ベイファーム」を訪れた人々が市内の観光施設等を周遊し、長時間滞在できるような取組を図ります。

総合指標	単 位	実績値	実績見込	目標値		
		2016年	2017年	2018年	2021年	2025年
観光客数（1～12月）	万人／年	129	130	131	144	198

達成目標 1 観光素材の商品化及び販売（※①②）

指 標	単 位	実績値	実績見込	目標値	
		2016年	2017年	2018年	2021年
かさおかブランド認定件数	件	22	20	22	28
カプトガニ博物館入場者数	人／年	68,013	68,500	69,000	70,500
竹喬美術館入場者数	人／年	13,303	19,720	20,000	20,000
修学旅行誘致件数	校／年	10	10	11	14

目標達成のための取組概要

- ◆井笠圏域、備後圏域及び高梁川流域圏域等の広域観光商品を開発し、積極的に販売します。
- ◆修学旅行誘致事業助成金制度を活用し、教育旅行の誘致に努めます。
- ◆笠岡市地域産業魅力づくり応援事業費補助金制度を活用し、観光資源の開発・商品企画等を支援します。
- ◆かさおかブランド協議会の活動による観光商品の開発・販路拡大事業を支援します。
- ◆笠岡諸島の優位性を活かした多様なイベントの開催等を支援します。

主要事業

- ◆観光事業の総合的なプロデュース
- ◆かさおかブランド育成事業
- ◆笠岡市地域産業魅力づくり応援事業
- ◆白石踊保存会後継者育成事業
- ◆郷土芸能・伝統行事の保存育成事業
- ◆エージェントツアー※
- ◆エクスカーション※
- ◆観光産業と他産業の交流事業
- ◆観光資源の調査・分析、観光施策の提言

※エージェントツアーとは、雑誌社や旅行業者等を対象として実施されるツアーで、雑誌等への記事掲載や旅行商品造成の動機付けを図り、観光地の魅力について情報発信を促進するもの

※エクスカーションとは、従来の見学会や視察とは異なり、訪れた場所で案内人の解説に耳を傾けながら、参加者も意見を交わし、地域の自然や歴史・文化と社会資本の果たす役割等を学び考え、理解を深める「体験型の見学会」

達成目標 2 観光客受け入れ体制の整備（※②③④）

指標	単位	実績値	実績見込	目標値	
		2016年	2017年	2018年	2021年
笠岡市地域産業魅力づくり応援事業（観光商品・観光サービス開拓事業）	件/年	4	1	5	5
宿泊施設数	軒	16	19	19	23

目標達成のための取組概要

- ◆観光事業の後継者及び新規参入者の育成を図ります。
- ◆外国人用観光案内看板・パンフレット等を整備し、インバウンドの取り込みに努めます。
- ◆笠岡諸島の待合所、観光トイレ、遊歩道等の整備改修や棧橋のバリアフリー化・有効活用等の環境整備とともに、公共交通体系を検討し、離島航路の維持に努めます。
- ◆笠岡市地域産業魅力づくり応援事業費補助金制度を活用し、宿泊施設の整備を支援します。
- ◆観光に従事する団体・個人経営者による勉強会を開催し、「稼ぐ観光の街・笠岡」の具現化を図ります。

主要事業

- ◆ 笠岡市地域産業魅力づくり応援事業
- ◆ 外国人観光客受け入れ研修
- ◆ 観光施設の整備
- ◆ 観光従事者育成事業
- ◆ ガイドボランティア育成事業
- ◆ 観光事業後継者・新規参入者育成に係る調査
- ◆ 笠岡市観光連盟への事業補助
- ◆ 笠岡諸島めぐりツアー

達成目標 3 観光情報の積極的なPR（※②⑤）

指 標	単 位	目 標 値			
		実績値 2016年	実績見込 2017年	2018年	2021年
観光資料配布数	部/年	21,540	8,000	8,500	10,000
観光ホームページアクセス数	件/年	376,000	380,000	385,000	400,000

目標達成のための取組概要

- ◆ 観光の売り込み等の見本市及び展示会への出展を支援します。
- ◆ 笠岡市地域産業魅力づくり応援事業費補助金制度を活用し、観光情報の発信システムの構築や販路開拓等の事業を支援します。
- ◆ 観光コーディネーターによるエージェンต์への積極的な宣伝活動を実施するとともに、観光連盟への支援を強化します。
- ◆ 市民観光レポーター、市外での情報発信協力者等の確保を図ります。
- ◆ かさおかブランド認定資源の情報発信をするための広告宣伝を支援します。
- ◆ 観光アプリケーションの開発等、SNSを活用した情報発信の推進を図ります。
- ◆ 笠岡市観光連盟のホームページや外国人誘客サイトの活用、在住外国人との連携等により、インバウンドの取り込みに努めます。

主要事業

- ◆ 笠岡市地域産業魅力づくり応援事業
- ◆ 観光事業後継者の育成
- ◆ ガイドブック及びホームページ等の多言語化
- ◆ Wi-Fi スポット、デジタルサイネージの整備
- ◆ 笠岡市観光連盟への事業補助
- ◆ 笠岡諸島交流センターの活用
- ◆ 観光客誘客活動

達成目標 4 道の駅の効果的な運営（※⑥）

指 標	単 位	実績値	実績見込	目標値	
		2016年	2017年	2018年	2021年
来場者数（1～12月）	千人／年	852	865	870	940
販売額（1～12月）	千円	501,842	498,555	512,000	553,000

目標達成のための取組概要

- ◆道の駅の誘客の最大コンテンツである四季の景観作物の計画的な栽培管理を図ります。
- ◆道の駅にゲートウェイとしての役割をもたせ、笠岡市内の観光地へ誘客し、2次的な経済波及効果を図ります。
- ◆中四国地域の道の駅の中でも「笠岡ベイファーム」へ誘客するために、他の地域との差別化を図ります。
- ◆道の駅の販売状況をモニタリング事業により適切に管理します。
- ◆道の駅「笠岡ベイファーム」を観光拠点と位置付け、積極的に誘客を図ります。
- ◆道の駅「笠岡ベイファーム」運営協議会の推進を図ります。

主要事業

- ◆巡回周遊バス運行事業
- ◆フラワーフェスティバル
- ◆景観作物栽培管理事業
- ◆施設整備事業
- ◆道の駅「笠岡ベイファーム」運営協議会

主な関連計画

計 画 名	策定（改訂）年月	計画期間
笠岡市産業振興ビジョン	2014年3月	5年
笠岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略	2015年8月	5年

1-6

主担当課／農政水産課
関係課／建設管理課、商工観光課

干拓地農業の活性化

基本方針

長い年月をかけて、先人の知恵と工夫によってつくられた干拓地を有効活用するため、農地のより効率的な利用と、干拓地農業の周知を進めるとともに、環境負荷に配慮した持続可能な循環型農業の実現を目指します。

現況と課題

- ①後継者不足等により、個人農地は耕作放棄地となる一方で、事業規模拡大のための農地を探している農業法人もあることから、農地の利用集積に向けた取組が必要です。
- ②長年赤字経営が続いていた粗飼料栽培は、粗飼料基地の全区画を農業法人等に貸付けることにより赤字が解消されています。一方で、南端エリアには岩石が多く、耕作不適地が存在しています。
- ③道の駅「笠岡ベイファーム」では、周辺の景観作物・季節ごとのイベントにより多くの方が来場され、地域情報の発信拠点となっています。干拓地が有効利用されている実態が市民に十分に浸透しているとはいいい難い状況の中で、こうした施設等も活用しながら周知を進めていくことが必要です。
- ④干拓地での牛の頭数が1万頭に達すると予測されている中で、排泄物の適切な処理は、臭気対策・水質保全対策にもつながることから喫緊の課題となっており、早急な対応が求められています。

対策

- ①離農者の農地が農業法人にスムーズに貸付けられるように、農地中間管理機構等を通じた農地の利用集積と農家の法人化を推進します。
- ②粗飼料基地全区画の貸付を継続するとともに、耕作不適地の圃場を整備し、農地の有効利用を図ります。
- ③道の駅「笠岡ベイファーム」を活用して干拓地の有効利用をPRし、高付加価値化された農作物による地域産品のブランド化を推進します。また、干拓地の視察を積極的に受け入れ、見学会・出前講座を実施し、干拓地農業の認知度向上に努めます。
- ④牛の排泄物の増加に対応するため、県・畜産農家・耕種農家等と協働して牛糞堆肥の品質改善に努め、干拓地内外への販売を促進します。あわせて、バイオマスの利活用等、牛糞の堆肥化以外での利用方法を検討し、臭気対策・水質保全対策を進め、環境負荷の軽減に取り組みます。

総合指標	単 位	実績値	実績見込	目標値		
		2016年	2017年	2018年	2021年	2025年
農業事業所数（経済センサス統計調査）※笠岡湾干拓地内	事業所	8	8	10	11	12
従業者数（経済センサス統計調査）※笠岡湾干拓地内	人	111	111	130	380	400

達成目標 1 農地の有効利用（※①②）

指 標	単 位	実績値	実績見込	目標値	
		2016年	2017年	2018年	2021年
耕作面積 ※干拓地の作付調査（年2回調査合計値）	ha	329	300	305	324
農業法人数	法人	25	25	26	27

目標達成のための取組概要

- ◆農地中間管理機構及び農業委員会等と連携を図り、高齢等の理由で離農した営農者の農地を担い手となる農業法人等へ貸付けます。
- ◆岡山県と連携を図り、粗飼料基地の全区画貸付を継続し、耕作不適地が圃場として活用できるよう整備を行います。

主要事業

- ◆農地中間管理事業
- ◆笠岡湾干拓地農業基盤整備事業
- ◆粗飼料基地管理委託料による粗飼料基地の管理

達成目標 2 干拓地農業と農産物の周知（※③）

指 標	単 位	実績値	実績見込	目標値	
		2016年	2017年	2018年	2021年
道の駅来場者数（1～12月）	千人/年	852	865	870	940
視察の受け入れ件数	件/年	8	11	15	25

目標達成のための取組概要

- ◆道の駅「笠岡ベイファーム」における、菜の花・ひまわり等の景観作物の栽培、イベントでの旬の農産物の販売等を通じ、集客増を図ります。
- ◆かさおかブランド協議会によるブランド認定を行い、笠岡湾干拓地の農産物のブランド化を推進します。

- ◆干拓地の魅力や先進的技術等の情報をホームページ等で積極的に発信し、視察や見学の要望に対応します。

主要事業

- ◆道の駅管理運営事業
- ◆道の駅花いっぱい事業
- ◆かさおかブランド育成事業
- ◆干拓地農業支援・周知事業

達成目標 3 持続可能な循環型農業の確立（※④）

指 標	単 位	実績値	実績見込	目標値	
		2016年	2017年	2018年	2021年
共同堆肥舎の牛糞堆肥搬出量	t/年	10,709	8,903	11,000	11,000
寺間遊水池のCOD※	mg/L	15	18	17	16

※CODとは、水質汚濁の指標の1つで、水中に有機物等の物質がどれくらい含まれるかを、酸化剤の消費量を酸素の量に換算して示すもの

目標達成のための取組概要

- ◆ 笠岡市畜産クラスター協議会の中で、負荷軽減施設の整備等、畜産環境問題の改善を進めます。
- ◆ 共同堆肥舎の牛糞堆肥を干拓地内外の農家へ販売することを通じて、牛糞の適切な処理を進めます。
- ◆ 笠岡湾干拓環境保全ネットワークによる排水路の補修や維持管理等の活動を通じて、水質保全を図ります。

主要事業

- ◆ 畜産クラスター事業
- ◆ 多面的機能支払交付金事業（笠岡湾干拓環境保全ネットワーク分）
- ◆ 笠岡湾干拓地水質保全対策事業

主な関連計画

計 画 名	策定（改訂）年月	計画期間
笠岡市田園環境整備マスタープラン	2003年2月	－
笠岡市農業経営基盤強化促進に関する基本的な構想	2014年	10年
笠岡市農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画	2015年8月	－
笠岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略	2015年8月	5年
笠岡市酪農・肉用牛生産近代化計画	2016年3月	10年
笠岡農業振興地域整備計画	2018年7月 (策定予定)	10年



菜の花 Festival



ロータリーパーラー



粗飼料基地の管理



道の駅「笠岡ベイファーム」